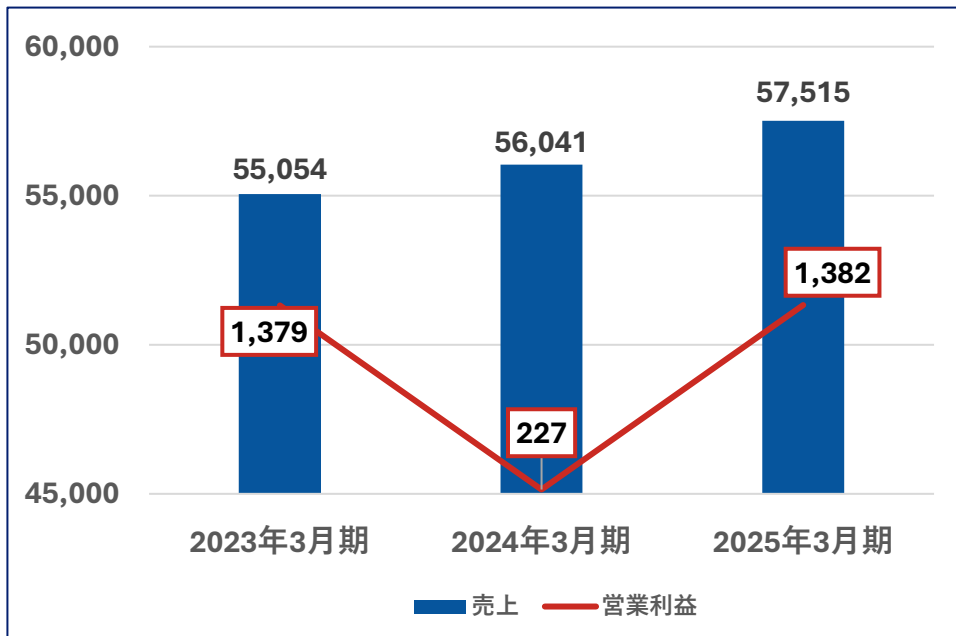




2025年3月期 決算報告

2025年3月期 決算報告 ①

(単位：百万円)



- 売上高は過去最高となり、営業利益は2023年3月期と同等までV字回復することができました。

- 売上高は昨年比で2.6%増加、営業利益は昨年比で508.3%となりました。売上高は、為替が円安基調で推移したことによる為替換算の影響もあり増収。利益面は、原材料やエネルギー等の価格上昇分の販売価格へ転嫁が、引き続き順調なことから、昨年比で大きく改善。
- 経常利益656百万円増、当期純利益850百万円増と大幅な利益改善となりました。

指標 (百万円)	2024年 3月期	2025年 3月期	増減	対比:%
経常利益	778	1,434	656	84.2
当期純利益	342	1,192	850	247.8

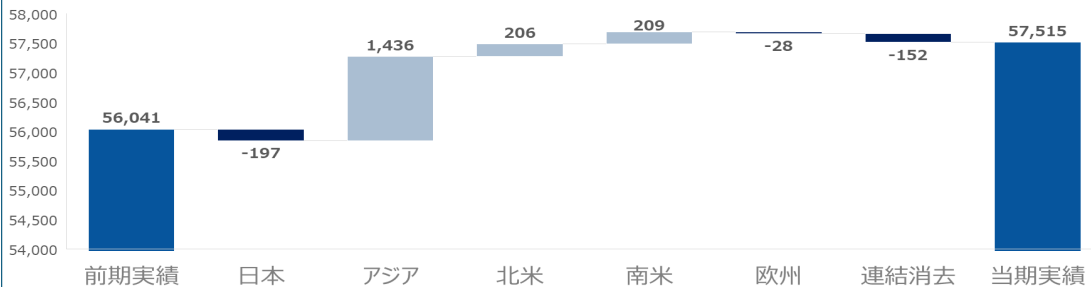
< 売上高過去最高 > 4期連続増収 2期ぶり増益

2025年3月期 決算報告 ② セグメント前期比較

(単位：百万円)

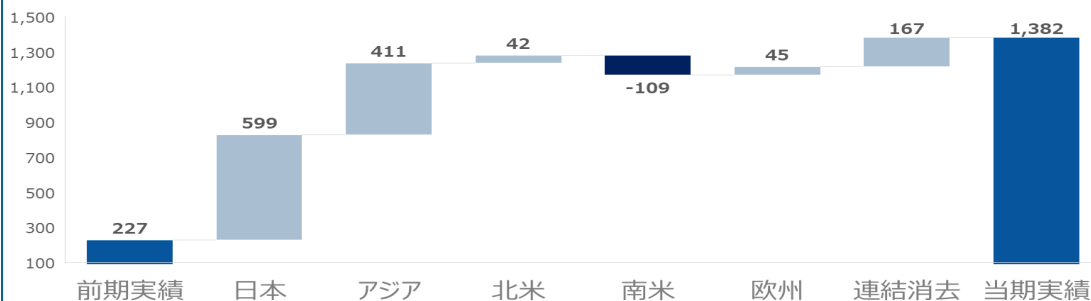
売上高増減

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



営業利益増減

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



■ 日本

国内完成車メーカーによる在庫調整の影響で二輪車用アルミリムの受注が低迷したに加え、海外向けトラクターの販売不振による農機用ホイールの受注が減少。一方で、価格転嫁による原価改善効果により、利益面では前期比で大きく改善。

■ アジア

円安の影響に加え、インド・中国・インドネシアにおける完成車メーカー向け二輪車用チェーンの受注が好調であったことから、売上高増。また、価格転嫁による利益改善効果により営業利益増。

■ 北米

米国の金融政策や政治情勢の不透明感から産業機械用チェーンの受注は減少しましたが、円安の影響と補修市場向け二輪車用チェーンの好調な受注が業績改善に貢献。

■ 南米

完成車メーカー向け及び補修市場向けともに、二輪車用チェーンの受注は堅調に推移し、売上高は前年同期を上回った一方で、干ばつの影響による物流費の増加と、現地競合企業の台頭により産業機械用チェーンにおける価格競争が激化したことから、営業損失を計上。

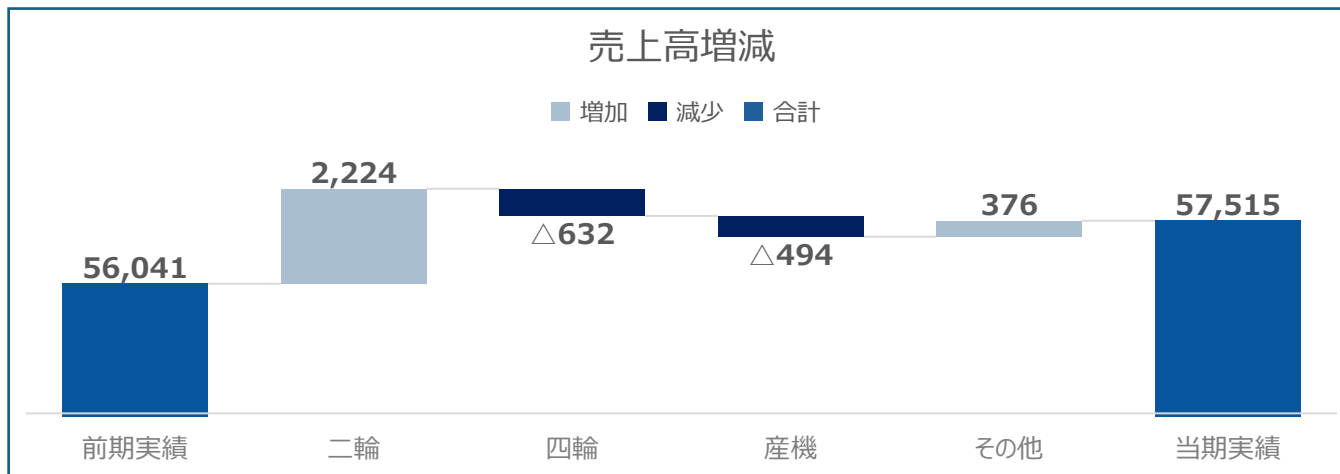
■ 欧州

円安の進行及び産業機械用チェーンにおけるグループ内商流の再編が寄与し改善を見せましたが、完成車メーカーの減産の影響などにより、二輪車用チェーンの受注が低調に推移した結果、前期並みとなりました。利益面では、価格転嫁による利益改善効果もあり、増益。

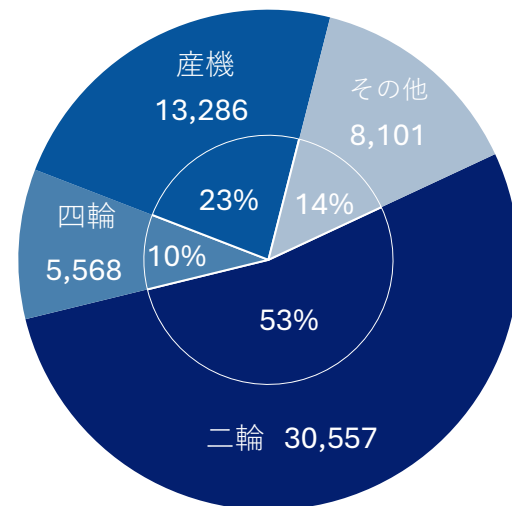
2025年3月期 決算報告 ③ 事業別売上高前期比較と事業別売上高構成比率

- 二輪：インド、中国などを中心に旺盛な需要を背景に大幅増収。為替、コスト上昇分の価格転嫁も寄与。
- 四輪：中国を中心にメーカーの減産により減収。
- 産機：中国、南米において競合先の台頭もあり減収。

(単位：百万円)



前期と当期比較



2025年3月期